

シラバス詳細

タイトル「2023年度」、カテゴリ「教養教育科目」

和文・英文ボタンを押すことで、和文↔英文の切り替えができます。

和文 英文

医学部のシラバスはこちらから。
医学系研究科博士課程のシラバスはこちらから。

科目情報

コースナンバリング

1-789x000

科目名

柔道の歴史と技法

開講学期

後期

開講時期

3クォータ

曜日・校時

水 3

単位数

< BACK

講義情報

学士力番号

1-(1)

講義形式

講義・演習

講義概要

本講義は、柔道未経験者を対象にして柔道の歴史背景や文化、理論、哲学等と関連させながら初歩的な技術を学ぶ科目です。技術の理解・習得には多くの時間を要しますので、多くの時間を稽古の時間に充てます。基本的には試合は原則しませんので、争うことが苦手な人でも問題ない内容になっています。授業の最終回後には授業内容を「振り返りシート」に整理してもらいます。「実技試験」の結果と「振り返りシート」の記載内容が評価対象になります。

開講意図

この授業は、佐賀大学学士力1-(1)「様々な学問分野（自然、文化、社会）における基本概念や思考方法を理解し、現代社会の諸問題を自らの力で合理的かつ論理的に推論し判断することができる。」能力を育成するための授業です。そこで本授業では、柔道思想や技術をより深く理解・習得してもらうために、柔道の初歩的な技術（受け身や動作）を柔道の理論および歴史背景、文化、哲学等と連結させながら理解・習得することを目指します。

到達目標

1. 柔道の歴史背景等と技術の関連を理解する
2. 練習や試合中の他者と自分の判断や言動を整理できる。
3. 授業内容を過去の経験や予想される未来の状況と関連させながら整理できる。
4. 受の初歩的な技術を習得する
5. 取の初歩的な技術を習得する

履修上の注意

1 回目の授業は運動のできる服装で参加して下さい。貸出用の柔道衣は準備されていますので柔道衣の準備は必要ありません。柔道衣は毎回の授業後に各自で各自で洗濯して下さい。

回	内容	授業以外の学習  本科目は、単位数×45時間の学修が必要な内容で構成されています。授業として実施する学修の他に、授業の内容を深めるために以下の事前・事後学修が必要です。
1	柔道の歴史	講義内容の復習、体調管理
2	柔道の受け身の技術	講義内容の復習、体調管理
3	柔道の目的	講義内容の復習、体調管理
4	受（うけ）の技術	講義内容の復習、体調管理
5	取（とり）の技術	講義内容の復習、体調管理
6	手技の理論と形（かた）	講義内容の復習、体調管理
7	手技の理論と形（かた）	講義内容の復習、体調管理
8	腰技の理論と形（かた）	講義内容の復習、体調管理
9	腰技の理論と形（かた）	講義内容の復習、体調管理
10	足技の理論と形（かた）	講義内容の復習、体調管理
11	足技の理論と形（かた）	講義内容の復習、体調管理
12	取（とり）と受（うけ）の技術の習得	講義内容の復習、体調管理
13	取（とり）と受（うけ）の技術の習得	講義内容の復習、体調管理
14	総合練習	講義内容の復習、体調管理
15	総合練習	講義内容の復習、体調管理

成績評価の方法と基準

振り返りシート（40点）・・・到達目標1, 2, 3

実技試験（60点）・・・到達目標4, 5

実する成績評価の根拠資料等

開示方法



開示を求める人は担当教員もしくは教務担当まで申し出てください。

教科書

資料名		版
著者名	発行所名・発行者名	出版年
備考（巻冊：上下等）		ISBN
必要に応じて教員が準備します		

参考図書

資料名		版
著者名	発行所名・発行者名	出版年
備考（巻冊：上下等）		ISBN
柔道：その歴史と技法		
藤堂良明著	ベースボール・マガジン社 (発売)	2014
		9784583106786

オフィスアワー

授業前後

アクティブラーニング導入状況

カテゴリ4	カテゴリ3	カテゴリ2	カテゴリ1	カテゴリ0
<p>学生が自ら主体となって、学習の方向性を定め、問題解決に導くための時間です。PROBLEM BASED LEARNING</p>	<p>グループや個人で行った能動的学習の成果を、教室内外で発表し、その評価を受けたり、質問に対応したりすることにより、学修した内容を深化させるための時間です。OUTPUT</p>	<p>学生自らが自由に発言し、グループやペアでの協働活動により課題に取り組み、何らかの帰結に到達するための能動的学習の時間です。INTERACTION</p>	<p>学生からの自由な発言機会はないものの、授業時間中に得られた知識や技能を自ら運用して、問題を解いたり、課題に取り組んだり、授業の振り返りをしたりする能動的学習を行う時間です。ACTION</p>	<p>基本的に学生は着席のまま、講義を聞き、ノートを取り、知識や技能を習得に努める時間です。INPUT</p>
0	30	30	10	30

その他

理工学部の技術者教育(JABEE)プログラムでは、「人類のさまざまな文化や社会に関する知識を基に、多面的に物事を考える」能力を養成するために、下記の学習・教育到達目標を掲げています。基本教養科目（文化の分野）の修得により、下記の学習・教育到達目標が達成されます。

（機械システム工学科）学習・教育到達目標(7-1)

（電気電子工学科 [2023 年度卒業生まで]）学習・教育到達目標(D1)

（理工学科機械エネルギー工学コース）学習・教育到達目標(7-1)

（理工学科メカニカルデザインコース）学習・教育到達目標(7-1)